

後期臨床研修プログラム

【脳神経外科】

足利赤十字病院は人口80万人の両毛医療圏（栃木県西部、群馬県東部）で唯一の救命救急センターです。脳卒中（くも膜下出血、脳出血、脳梗塞）や頭部外傷の救急疾患症例が多く日本脳神経外科学会専門医研修指定施設（A-106）、日本脳卒中学会認定研修教育施設、栃木県脳卒中専門医療機関に指定されています。また当院の特徴として他科との連携がスムーズであり合併症を有する症例の治療、脳腫瘍の化学療法、放射線治療をはじめ幅広く脳神経外科全般の研修が可能です。日本脳神経外科学会専門医の他、日本脳卒中学会専門医、日本救急医学会専門医の取得も可能です。

■一般目標

脳神経外科の基本的な知識・技能を習得し、脳神経外科学会専門医を取得する（初期臨床研修修了後、脳神経外科学会に入会し4年経過すれば脳神経外科専門医の受験資格が得られます）。

≪1年目≫

- 患者管理：**1. 脳神経外科患者について病歴を的確に聴取し、神経学的検査を行い診療計画を作成する。
2. 脳神経外科救急患者の初期診療ができる
3. 脳神経外科患者の術前・術後管理ができる。
- 診断：**1. CT、MRI、アイソトープ検査、脳血管撮影などの検査の限界と適応を理解し画像検査をオーダーし画像診断ができる。
2. 腰椎穿刺、脳血管撮影を施行できる。
- 手術：**1. 慢性硬膜下血腫などの穿頭術、V-P シャント術の術者ができる。
2. 開頭術、閉頭術の術者ができる。
3. 急性硬膜外血腫、急性硬膜下地腫の術者ができる。
4. 内視鏡手術、血管内治療の助手ができる。

≪2年目≫

- 患者管理：**1. 疾患に対する専門的な理解を深め診療、技術を習得する。
2. 病状の説明が的確にできる。
- 診断：**1. 画像診断の精度を高める。
2. 脳腫瘍の病理診断の基本を理解する。
- 手術：**1. ナビゲーションの設定ができる。
2. 顕微鏡下手術の基本手技を習得する。
3. 表在の脳腫瘍の摘出術が指導医のもとにできる。
4. 脳内病変（脳内血腫等）の手術が指導医のもとにできる。

≪3・4年目≫

1. 患者管理、診断の精度をさらに高める。
2. 日本脳神経外科学会専門医取得の準備をし、5年目に試験に合格する。
3. 手術：脳動脈瘤、脳腫瘍の術者が指導医のもとにできる。
4. 自らの関心領域をもとにサブスペシャリティー確立に向けて始動する。

■学術活動

1. 脳神経外科関連学会発表：三回以上
2. 発表内容の論文作成

■研修後の進路

足利赤十字病院のスタッフとして当施設に残る。
その他ご希望があればご相談ください。

■週間スケジュール

- 病棟回診：8:00-9:00 月曜、金曜
総回診：15:00-17:00（医師、看護師、理学療法士、薬剤師、栄養士）
手術：月曜、金曜（手術件数は緊急手術も含め年間200-250例）



足利赤十字病院

日本赤十字社

■問い合わせ先

お気軽にお問い合わせください。
足利赤十字病院 脳神経外科 部長
村上秀樹：h.murakami@ashikaga.jrc.or.jp